

童

2015年7月3日

今年は、空梅雨かと思いきや、いい感じで雨の日あり、晴れの日ありと言った感じの毎日です。お蔭様で、草花、野菜類は大喜びで、大地の緑も一段と綺麗な色を醸し出してくれています。例年の宿根の花々に加えて、今年は、コスモスやダリアなども植え、ののほな文庫周辺は、文字通り、野の花類が、咲き誇ればいいなあと感じています。しかしながら、草花も、子どもと同じく、手間暇かけて丁寧に、そして、年月をかけて育てねばならないと痛感します。

6月も、皆様の相変わらぬエネルギーと情熱のお蔭で、色々なセミナーや勉強会を行うことができました。給食も、回を重ねるごとに盛り上がり、毎週、なんだかんだと充実したポイントとなる日があり、とても期待と楽しみの日々を過ごすことができています。

いよいよ7月。海水浴、そして夕涼み会と、ビッグな行事があります。青春を謳歌した学生時代を思い出しながら(いつまでも気分は、青春時代ですが)、学園祭文化祭のノリで、色々なアイデアと工夫とユーモアで楽しみたいと思います。夏は、やはり外に向かった躍動感あふれるエネルギーの季節です。この時期、どれだけ、汗をかけるかで、冬健康が決まるという話があります。つまり、暑い夏にたっぷり汗をかくことが、1年を通じての健康の秘訣!! それも、身体的だけでなく、精神的にも情熱とエネルギーたっぷりの汗をかきましょう。

そんな健康のポイントである、7月の大地を、どうか一緒にエネルギーに過ごしていきましょう

【努力は報われる! ?】



いよいよ、最後の夏!! こう言ってすぐにイメージできることは?

青山家では、もちろん「高校野球!!」とうとうラストサマー。小さい頃から当たり前であった子ども達との野球の暮らしもいよいよこれでおしまいです。高校野球の最後と言うのは、めちゃくちゃあつけないものです。夏の大会の試合の前日まで、朝から晩まで練習し続け、そして、当日の試合で敗れば、もうそこで引退。翌日からは、1、2年生が練習を始め、3年生は、普通の学生生活になります。野球の野の字もできないのです。(もちろん、大学でも続ける子どもは、自主練習で混ぜてもらってもできますが、1、2年生は、先輩がいるので、気を使うでしょうね)

早起き、でっかい弁当の準備、風になびいているユニフォームの洗濯物、山盛りの夕ご飯、毎晩の泥落とし洗濯、玄關にある野球の靴、そして、週末の練習試合の見学、当たり前になった日常の生活になっていたものが、突然ぷつぷつ消えるのですから、これはもう、脱力感と喪失感と無力感です。試合に敗れた悔しさ以上に、この生活を失う寂しさのほうが大きく思えます。野球真っ盛りの時は、そう思えず毎日親も必死ですが、終了の秒読みが開始されると、さびしい事ばかり。この気分って、何かに似ていますね.....。そうです、子育ての時期ですね。特に幼児期の一番手のかかる時期と同じです。その時は、必死ですが、子どもが大きくなると、無性にその時期が懐かしくなり、もう一度、あたふたと子どもと過ごしてみたいと思う気分と同じです。全てが、かけがえのない時間と世界です。

どこの団体スポーツもそうですが、レギュラーと控え組。野球も、ベンチに入れるレギュラーは20名。その中でも、更に9名しか出れない厳しい世界。90名もいる部員の中で、最後の夏もレギュラーで出せて頂ける幸せは、親も子ども本当にありがたい。けれども、3年間やってきて一度もレギュラーになれずに、表舞台に立てない子ども達もいるのも事実。そんな子どもたちが、用具の準備をしてくれたり、陰でサポートしてくれたり。その子どもたちの立場や気持ちを考えるとやりきれない気持ちと心からの感謝。だから、一球一球は、全て「皆の一球」なのです。

「努力は必ず報われる」「夢は叶う」と言われますが、高校3年間、球児たちの夢は、やはり「甲子園」。皆、これを目指して、それを夢見て、努力しますが、その夢が叶うのは、ほんの一握り。高校3年間で、5回のチャンスで、勝ち抜かねばなりません。決勝で敗れるのも、一回戦で敗れるのも、結果は同じ、という非情な現実。たった1校しか、頂点に立てず、それ以外は全て、負けの世界です。限られた3年間の中で、夢は叶う、努力は報われる、という事は、現実的には、不可能な面がとても強いように思われます。よって、軽々しく、そんな言葉を吐けないのが現実です。

団体スポーツでは、一人二人がそんな言葉やモチベーションを持っていても、それは現実的ではありません。しかしながら、90名全員が、そんな気持ちを持っていたら、その可能性は高いと思われれます。受験勉強などは、たった一人ですから、努力や夢は叶う可能性は高いですが、団体では、全員がそんな気持ちで努力したら、「一人は皆のために、皆は一人のために」。だから、皆、チームは一つとかチームワークが課題とかをスローガンに頑張っているのですね。

逆に、足を引っ張ったり、どうせ無理とか言ったりしたら.....。小さな穴から水漏れが始まるように、ほころびが見えてきたら、夢は叶うどころか、夢を捨てることになるかも知れません。

いろいろ、偉そうに言っていますが、青ちゃんは、実は団体スポーツ未経験者です。というよりも、苦手ですね。野球部にも入っていて、3年間やって最後の大会にも出れなかったら、更に後輩に越されたりしたら、たぶん、ぐれるか退部してしまうのではないのでしょうか。同じ時間、同じ練習をして(もちろん、自分なりに工夫して、練習量を増やして努力しても)、限られた期間の中で、もともと持って生まれた才能や遺伝的な要素の差などを、努力で埋めて越えようと努力する。この過程は、もちろん、人間としての財産となるし、日常生きていく中での重要な要素です。もちろん、理解できますが、もし、自分が思春期(高校生位だったら)だったら、すんなり受け入れることができるかどうか。「努力は報われない 所詮無理.....」などと不良になっている自分がいるか、それとも落ち込むか、自分の才能のなさを恨むか、嫉妬するか?それを考えたら、野球でもサッカーでも、団体スポーツをしている人たちは、めちゃくちゃ器が大きく、すごい精神の持ち主だと、本当に畏敬の念を持って、すごいなあと思います。それほど、器が狭い自分ですから、団体スポーツはできないのでしょうか。いや、逆に考えれば、自分の課題や器などを鍛えるために、団体スポーツが、必要だったのかもしれない。その意味で、団体スポーツを通じての育つ人間としての要素は、かなり大きいものがあるように感じます。

こんな自分だから、「努力は報われる」「夢は叶う」などと、子どもにも団体スポーツをしている人達に、軽々しく言う事はできません。ただ、「報われるまで努力する」「叶うまで努力する姿勢で生きる」ことをモットーに過ごしていきたいと思っています。

7月11日(土)全国高校野球選手権長野大会開幕 16日初戦。どんなドラマが待ち構えているか。そして、その後、どんな人生の節目となるのか。楽しみです。

叶う夢だから心に宿る